

2026年4月15日

丸紅アセットマネジメント株式会社
第一生命保険株式会社
第一ライフ丸紅リアルエステート株式会社

第一ライフ丸紅リアルエステートグループの不動産私募ファンド
DMRE ファンド 1号および2号組成のお知らせ

第一ライフ丸紅リアルエステート株式会社（代表取締役社長：金子伸一郎、以下「第一ライフ丸紅リアルエステート」）傘下の丸紅アセットマネジメント株式会社（代表取締役社長：横山禎之、以下「丸紅アセットマネジメント」）は、第一生命保険株式会社（代表取締役社長：隅野俊亮、以下「第一生命保険」）を主要投資家とする私募ファンド「DMRE ファンド」*の1号案件（以下「DMRE ファンド1号」）および2号案件（以下「DMRE ファンド2号」）を組成し、2026年3月より運用を開始しました。

*「DMRE」は「第一ライフ丸紅リアルエステート」の略称

DMRE ファンド1号は、都内賃貸レジデンス10棟の信託受益権および埼玉県の物流倉庫1棟の匿名組合出資持分の一部を投資対象資産とする私募ファンドです。DMRE ファンド2号は、データセンター（所在地非公開）の優先出資持分の一部を投資対象資産とする私募ファンドです。両ファンドの資産規模は合計約500億円となっており、国内有数の運用実績を有する丸紅アセットマネジメントがアセットマネジャーを務めます。

両ファンドは豊富な投資実績を有する第一生命保険を主要投資家とし、その他、機関投資家、年金基金等をエクイティ投資家として組成に至りました。

DMRE グループは、生命保険会社が保有する資産運用・金融仲介機能と、総合商社が保有する幅広いネットワークや知見を通じて蓄積した実績やノウハウを融合し、スケールメリットを活かした持続的な成長と新たな価値創造を目指しています。その中で、DMRE ファンドは、アセットマネジメントを成長の主軸とするDMRE グループの象徴となるファンドであり、国内不動産バリューチェーンの強化・拡大を牽引する成長ドライバーとして位置付けられています。

今後は、賃貸レジデンスやホテル、オフィス、物流施設、データセンターなど多様な不動産アセットへの投資を検討するとともに、DMRE グループの開発物件の組入れも進めながら、投資家のニーズに合わせた多様な不動産運用商品を提供し、2030年度末までに4,000億円規模への拡大を目指してまいります。

以上